

社長メッセージ

日本化薬グループのありたい姿

KAYAKU spiritのもと、存在感をもって、 永続的に環境、社会、 すべてのステークホルダーに 幸せやうれしさを提供できる会社であること

私たち日本化薬グループは、KAYAKU spirit「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」を企業ビジョンとしています。私たちはこのKAYAKU spiritを創業時より受け継ぎ、一貫して世のため人のために役に立つ仕事をしなければという姿勢で事業活動を行ってきました。働く場所や仕事はそれぞれですが、KAYAKU spiritが全役員・全従業員の判断や行動のよりどころとなります。

2022年度から中期事業計画 **KAYAKU Vision 2025** (以下、**KV25**)がスタートしました。今回の計画期間は2025年度までの4年間としています。**KV25**の目玉はマテリアリティ・クロスファンクショナルチーム(以下、M-CFT)が取り組む5つの全社重要課題(新事業・新製品創出、気候変動対応、DX、仕事改革、働き方改革)です。4事業のありたい姿の達成に向けた活動とM-CFTの活動を一体とすることで相乗効果を生み出し、日本化薬グループのありたい姿「KAYAKU spiritのもと、存在感をもって、永続的に環境、社会、すべてのステークホルダーに幸せやうれしさを提供できる会社であること」の実現を目指します。

当社は2022年4月1日にサステナブル経営基本方針を制定しました。4事業の活動、および5つの全社重要課題とそれを補完するサステナビリティ重要課題を合わせた**KV25**マテリアリティの取り組みを通じて、これまでのCSR経営をさらに進化させたサステナブル経営を実践し、環境・社会的価値と経済的価値を創造します。

また、当社は2021年9月に国連グローバル・コンパクト(UNGC)に参加しました。UNGCが掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」からなる10原則を日々の業務や戦略に組み込み、持続可能な開発目標(SDGs)で掲げられた目標を、事業活動を通じて達成することで持続可能な社会の実現に貢献します。

今後もコーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に努めることで、経営基盤を強化し、高い倫理観をもってサステナブル経営を実践しながら企業価値を高めてまいります。ステークホルダーのみならず皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年7月
日本化薬株式会社
代表取締役社長

涌元厚宏